

TOSHIBA

東芝換気扇取付説明書（ダクト用）

販売店・工事店さま用

形名
(Lタイプ)

DVF-G10L3, G14L3, G14LQ3(鋼板タイプ)

DVF-G10CL3, G14CL3, G14CLQ3(プラスチックタイプ)

(Bタイプ)

DVF-G10CB3, G14CB3, G14CBQ3(プラスチックタイプ)

この換気扇の注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくためにこの取付説明書をよくお読みください。（形名により図が一部異なります。）

この取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。



別売部品をご利用ください。（詳しくはカタログをごらんください。）

安全上のご注意

取付の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。



ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。

表 示	表示の意味
 警告	誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が想定される内容を示します。









* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の意味







表 示	図記号の意味
 改造禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「改造禁止」を示します。
 アースを接続する	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「アースを接続する」を示します。

取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。

⚠ 警告

 改造禁止	改造はしないこと 火災・感電・けがの恐れがあります。
 分解・修理禁止	修理技術者以外の方は分解、修理（ ）をしないこと 火災・感電・けがの恐れがあります。 修理はお買上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。
 アースを接続する	アースは確実に取りつけること 故障や漏電したとき、火災・感電の恐れがあります。アースの取付は販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。
 接触禁止	金属製ダクトが、メタルラス張りなどの金属造営材を貫通するときは、金属造営材に接触しないこと 漏電したとき、火災・感電の恐れがあります。
 取付禁止	内釜式風呂を設置した住宅には取りつけないこと 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります。
 吸気を確実に	自然排気型ストーブがある部屋に据えつけるときは、ドアなどに空気取り入れ口をつけること 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります。
 交流 100 V 使用	電源は交流 100 V を使うこと 交流 100 V 以外の電源を使うと、火災・感電の恐れがあります。
 ポリ袋廃棄	包装用ポリ袋は幼児の手の届かない所に廃棄または保管すること 頭からかぶるなどすると、口や、鼻を塞ぎ窒息の原因になります。

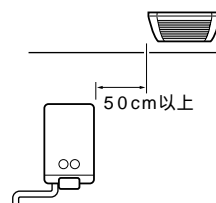
⚠ 注意

 取付禁止	浴室には壁スイッチを取りつけないこと 火災・感電の恐れがあります。
 炎禁止	炎が接近したり、あたる恐れのある場所には取りつけないこと 火災の恐れがあります。
 確実に取り付ける	強度のある場所に確実に取りつけること 落下により、けがをする恐れがあります。
 確実に取り付ける	本体カバーや部品は確実に取りつけること 落下により、けがをする恐れがあります。
 電気工事士が実施	電気工事・アース工事は電気工事士（ ）が行うこと 電気工事士以外の方が工事をすると、火災・感電・けがの恐れがあります。 電気工事士への依頼はお買上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
 取付注意	浴室など湿気の多いところや水のかかるところでは浴室用機種を使うこと 火災・感電の恐れがあります。

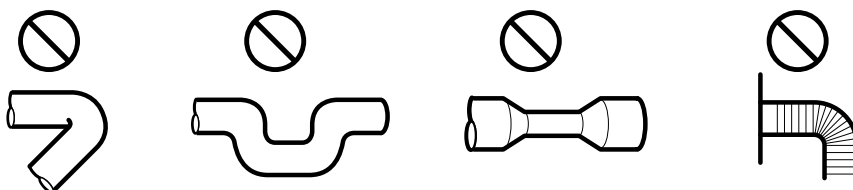
取付上のお願い

次のような場所には取り付けないでください。

1. 高温（40℃以上）になる場所
ガスレンジの真上
ガス湯沸器の真上（横方向へ50cm以上離してください。）
換気機能のない浴室乾燥機を使用する浴室
 2. 台所など油煙の多い場所
 3. 腐蝕性ガスの発生する場所
点検口を必ず設けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。



- (1) 極端な曲げ (2) 多数回の曲げ (3) 接続ダクト径を極端に小さくする (4) 排気口のすぐ近くでの曲げ



ダクトと排気口をテクスねじなどで止めないでください。

シャッターが開かなくなる恐れがあります。

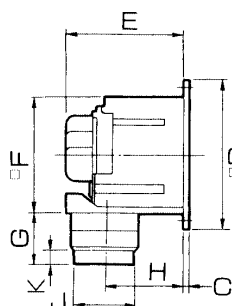
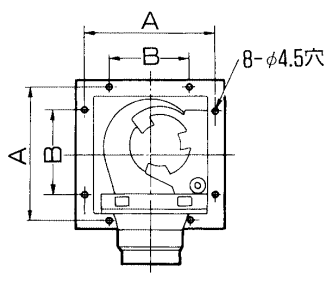
地域によっては樹脂製換気扇およびジャバラが使えないことがあります。

（詳細は行政官庁または消防署にお問い合わせください。）

共同ダクトへ排気するときには、建築基準法施行令により防火の役割を果たすものを使用することが義務づけられていますので、2mの鋼板立上がりダクトを取り付けるか、システム部材の防火ダンパーを取り付けてください。

効率よく排気させるため排気ダクトと同じ大きさの空気の取入口を部屋の反対位置に設けてください。

製品寸法



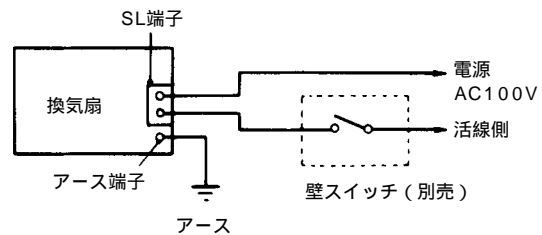
(単位mm)

(単位mm)

形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	木枠内寸	ダクト呼び径
DVF-G10L3	193	110	18.5	246	197	168	107	119.5	98	30	175	100
DVF-G10CL3,G10CB3	193	126	18.5	246	185	168	84	120	98	25	175	100
DVF-G14L3,G14LQ3	242.5	140	17.5	293	198	217	106.5	119.5	98	30	225	100
DVF-G14CL3,G14CLQ3	242.5	140	17.5	293	198	217	110	120	98	25	225	100
DVF-G14CB3,G14CBQ3												

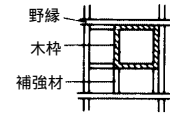
付属品の確認をしてください

鋼板タイプ		プラスチックタイプ
木ねじ5本 (本体固定用・排気口固定用)	取付ボルト1本 (本体仮固定用)	木ねじ6本 (本体固定用・排気口固定用)
4.1 × 25°		4 × 30°



A.木枠に取り付けるとき

A-1 木枠内寸に合わせて木枠をつくり野縁に固定します。



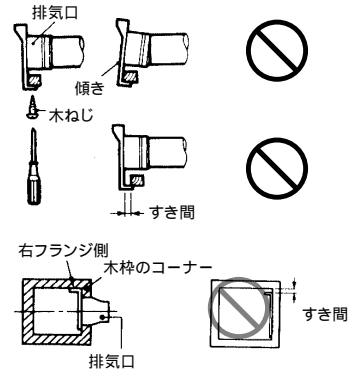
お願い

製品の質量に十分耐えるよう木枠を補強材等で野縁に固定します。

	タイプ	製品質量 (kg)	木枠内寸 (mm)
DVF-10	鋼板タイプ	1.8	175
	プラスチックタイプ	1.4	
DVF-14	鋼板タイプ	2.5	225
	プラスチックタイプ	2.3	

A-2 排気口を固定します。

排気口を木枠と傾き及びすき間がないように、内側の穴に付属の木ねじ(鋼板タイプ1本、プラスチックタイプ2本)で固定します。
鋼板タイプは、排気口の右フランジ部を木枠のコーナーに合わせてください。



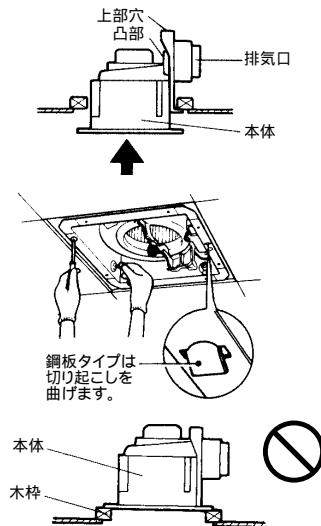
A-3 本体を木枠に固定します。

本体を挿入し、排気口の上部穴に本体の凸部をはめ込みます。
鋼板タイプは取付ボルトで仮固定します。安全のためそのままにしておいてください。

木ねじ(4本)で本体を木枠に固定します。本体の固定は木枠に密着させてください。風もれの原因となります。

お願い

本体を木枠の上に固定しないでください。



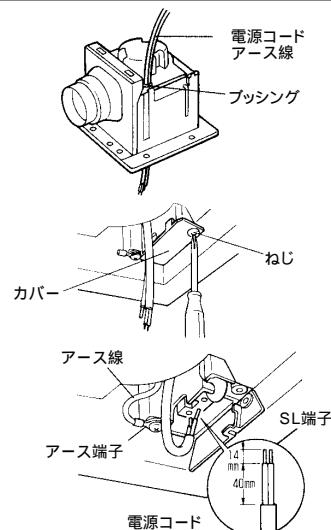
A-4 電源コードとアース線を接続します

本体上部のプッシングから電源コード(VVF 1.6、2、2芯、3芯)、アース線を差し込みます。

b VVFは2芯または3芯を使用してください。

カバーのねじをはずし、カバーをあけます。

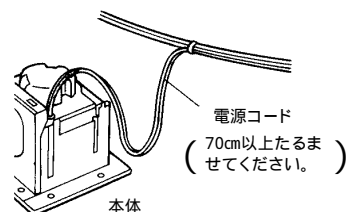
SL端子に電源コードの芯線を確実に奥まで強く差し込んでください。
(電源被ふくは14mmむいてください。)



カバーを開けてねじを締め付けます。
アース端子にアース線を取り付けます。
電源コードおよびアース線は本体部付近
で70cm以上たるませてください。

お願い

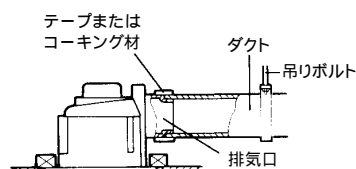
スイッチは必ず活線側に取り付けてく
ださい。



A-5 排気口にダクトをはめ込みテ ープまたはコーキング材で密 封します。

お願い

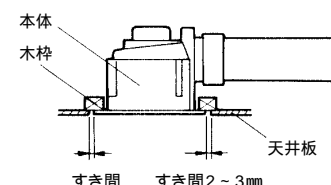
ダクトは若干室外側を下げて吊りボルト
などで保持してください。



A-6 天井板を貼り付けます。

お願い

本製品は本体を天井よりはずせる
構造としてありますので天井板と本
体のフランジとのスキマが2～3mm
になるようにしてください。
本体カバーがBタイプの時、天井板
は厚さ11mm以下のものをご使用く
ださい。それ以上ですと風量が低下
し換気が悪くなります。



A-7 本体カバーを取り付けます。

本体からスプリングを止まるまでゆっく
りと真下へ引き出します。

スプリングに引掛金具引っ掛けます。

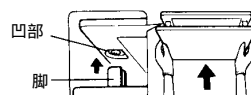
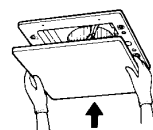
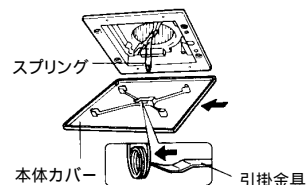
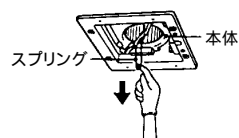
本体カバーをそのままゆっくりとおし上
げます。

(Lタイプ)

本体カバーを天井の模様にあわせて90
度回転させた方向に取りつけることが
できます。

(Bタイプ)

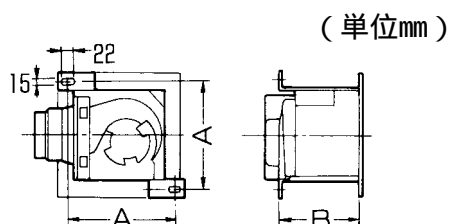
本体カバーの脚が本体枠の凹部にはま
っていることを確認してください。



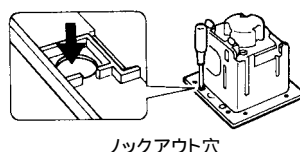
B.吊下金具を使用するとき

B-1 次図を参照してアンカーボルトを埋め込みます。

タイプ		A	B
DVF-10		204	146
DVF-14	鋼板タイプ	253	146
	プラスチックタイプ	243	146



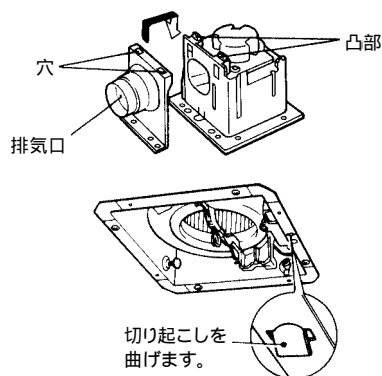
B-2 プラスチックタイプは本体枠の排気口側のロックアウト穴を打ち抜きます。



B-3 排気口を本体に取り付けます。

本体の上部凸部に排気口の穴をはめ込みます。

鋼板タイプは排気口および吸気口の切り起こしを右図のように、ペンチなどで曲げ、本体に固定してください。



B-4 吊下金具 DV-2T(別売部品)を本体に取り付けます。

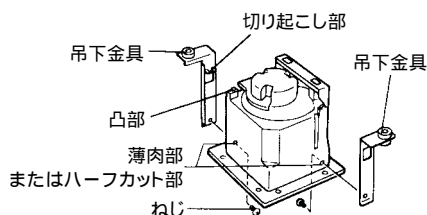
鋼板タイプ

本体のハーフカット部をドライバー等で打ち抜きます。(2カ所)

プラスチックタイプ

本体の薄肉部を打ち抜きます。(2カ所)
吊下金具の切起し部を本体の凸部に引っ掛けます。

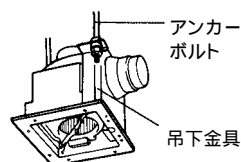
本体内側よりねじ(2本)で確実に固定します。



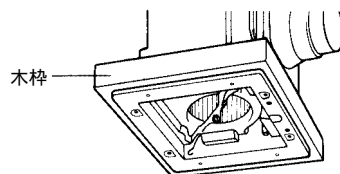
B-5 本体をアンカーボルトに取り付けます。

お願い

本体が水平になるように取り付けてください。



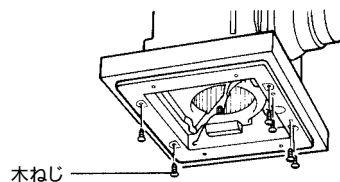
B-6 本体に合わせて木枠を組み付けます。



B-7 本体および排気口を木枠に固定します。

木ねじで本体、排気口を木枠に固定します。

- ・鋼板タイプ.....5本
- ・プラスチックタイプ...6本



B-8 以後の取り付けはA-4・5・6・7を参照してください。

以上で取り付け完了です

つぎの点検を行ない異常がないか確認してください。

製品の取付強度が十分なこと。

運転したとき異常音、異常振動がないこと。

本体カバーが確実に取り付けられていること。

東芝キヤリア株式会社

ET9X404101